



小川っ子

唐津市立小川小中学校
学校だより 第4号
令和元年7月18日発行
文責 高木 俊実

今年も「がぜとれ」体験活動



は、各家庭の協力を得て、帰宅後のウニ割りや内臓とウニを仕分ける作業(がぜしの)を体験しました。

この日は、TV局の取材もあり、その様子は7月17日に「海と日本プロジェクトIN佐賀」で放送されました。

本校の教育活動の特色である『がぜとり』、今年は例年より少し遅く、7月2日(火)の【大潮】の日に実施しました。本校では、小川島の貴重な水産資源である「ウニ」の採取とその後の商品化のための後処理(がぜしの)の体験を通して、「働くことの意味とよるこび」や正しい「職業観」「勤労観」を身に付けさせることを目的とした「キャリア教育」の一環として位置付けています。今年は、がぜ取りの前、海岸のごみ拾いのボランティアも行いました。がぜ取りのあと、子どもたち



子育てサロン & かさご種苗放流

子育てサロン』が実施され、本校からは中学生4名が参加しました。会場は海青中学校で、海青中3年1組の皆さん、馬渡中、加唐中の皆さんと一緒に活動しました。子育てサロンでは、赤ちゃんや子育て中のお母さん方との交流や妊婦体験等を通して、命の大切さや子どもへの親の思いなど様々なことを感じてくれました。

同じ日に、小学生4名は、呼子小学校の5年生の児童と一緒に、小川島漁場集落が主催した『かさご種苗啓発放流』に参加しました。

子どもたちは、「最初は海がにごってっていたけど、色々な魚が見えるようになって楽しかった。」「放流したかさごが大きくなって戻ってくるのが楽しみ」「呼子小の人と話ができてよかった」など、初めての体験に楽しんでいました。昨年度まで本校に勤務されていた尾崎先生も県の職員として参加されていました。



7月16日(火)唐津市子育て支援情報センターの支援で『中学生子育てサロン』が実施され、本校からは中学生4名が参加しました。会場は海青中学校で、海青中3年1組の皆さん、馬渡中、加唐中の皆さんと一緒に活動しました。子育てサロンでは、赤ちゃんや子育て中のお母さん方との交流や妊婦体験等を通して、命の大切さや子どもへの親の思いなど様々なことを感じてくれました。



着衣水泳学習会

7月11日(木)④校時。今年は、佐賀県着衣泳の会からお2人の講師の先生をお招きして開催しました。

着衣水泳(着衣泳)は、いざというとき、呼吸を確保し、救助されるまで浮き続ける自己保全を目的とした対処法です。1時間の学習でしたが、講師の先生方の指導と子どもたちの真剣な取組の成果として、小中学生全員が「背浮き」ができるようになり、講師の先生方も驚かれました。夏休みになり、海辺などで遊ぶ機会も増えるかと思えます。学校では夏休みの生活について、子どもたちに注意喚起をしています。地域・保護者の方々の見守りもよろしくお祈りします



夏の中体連

7月7日(土)・14日(土)は、唐津地区夏季総合体育大会(夏の中体連)の剣道部・卓球部の試合がありました。



剣道部は3名で団体戦に臨み、3年生の川添瑠生君が2勝、中川望夢君が1勝したものの決勝リーグへは進むことができませんでした。個人戦では、川添瑠生君が2回戦まで勝ち進むことができました。



卓球部は3年生の中川芹香さんが個人戦に出場し、3回戦まで勝ち進みましたが、惜しくも目標のベスト8には届きませんでした。

3年間がんばった3年生に心の底からエールを送ります。このがんばりを今後の学校生活や高校入試につなげて欲しいと思います。

ヨット体験学習

7月12日(金)に、二夕子の佐賀県ヨットハーバーで、小学校のヨット体験学習を行いました。

午前中はクルーザーに乗せていただき、神集島近くまで



行きました。暖かな日差しと涼やかな風を受けながら、周囲の自然を観察しつつ、豊かな時間を過ごすことができました。また、舵を操作させていただき、自分の力で船を操る楽しさも満喫することができました。



午後は、子供用の小さなヨットやSUP(スタンドアップパドルボード)を自分で操作して楽しむ体験をしました。途中、救助艇のお世話になることもありました。自分たちで上手に操作することができ、ヨット協会の指導者の方からも、しっかり話を聞くことができ、飲み込みも早いとほめていただいていた。 (古川)



7月13日(土) 小川島祇園祭の様子。今年も「ソーラン節」を披露しました。

